

教科(科目)	世界史A	単位数	3 単位	学年(学科・コース)	2 年生
使用教科書	新版 世界史A 実教出版			授業形態	必修
副教材	なし				

1 科目目標

原始から近代までの世界史を、欧州史を中心に、各地域の概略史を踏まえながら通史で学習する。現代社会の根幹を成す政治・経済・文化の発達を系統的に理解させる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	歴史学習の基本 序章 人類の誕生 と文明の発生	歴史とは何か。歴史を学ぶ意義。暦法を学習する。 人類の誕生・狩猟採集から農耕牧畜への発展・文明の起源を学ぶ。	1 0	確認テスト(小テスト)を定期的に実施し平常点として評価する。〈通年↓〉
5	第1章 諸地域世界と文明	四大文明の発祥と諸地域の古代史から中世史までの概略を、政治・経済・文化の特徴を明確にしつつ簡潔に学習する。	1 0	中間考査
6		東アジア(殷・周・秦・漢・隋・唐・宋・元) 南アジア(古典王朝からイスラムの侵入まで) 西アジア(オリエント文明からイスラム世界の成立まで) ヨーロッパ(地中海文明からローマ帝国の盛衰まで)	1 0	期末考査
7		ヨーロッパ(ゲルマン民族の大移動から十字軍まで)	8	
8		欠点者補習	(20)	補習課題
9	第3章 一体化に向かう世界	近代社会成立の概略を、欧州史を軸に学習する。		
10		ヨーロッパ(ルネサンス・宗教改革・大航海時代) 西アジア・北アフリカ(イスラム世界の発展・成熟) 東アジア(明・清)	1 0	中間考査
11	第4章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	ヨーロッパ(絶対王政の成立) 近代市民社会の成立(市民革命・産業革命・ナショナリズム)	1 0	
12		欧米諸国の海外進出(帝国主義・アジアの変動)	1 0	期末考査
		欠点者・進学希望者補習	(20)	補習課題
1	第5章 現代世界のあゆみ	国際社会成立の背景・過程を学習する。		
2		第一次世界大戦とヴェルサイユ体制 アジアの民族運動の高まり 世界恐慌とファシズムの台頭 第二次大戦と世界の変容	1 0	
3	第6章 第二次大戦後の世界	戦後から現在に至る国際社会の変化を学習する。		学年末考査
		国際連合の成立と東西冷戦 冷戦の終結と多極化する世界 現代社会の諸問題	8	

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	世界の歴史に関心を持ち、意欲的に追究しようとしているか。	授業へ取り組む姿勢。 ノートやプリント等の課題の提出状況。
思考判断	知識を基に、人類の課題を多角的に考察しようとしているか。	定期考査(1学期2回、2学期2回、学年末1回)
技能表現	資料を収集し、情報を選択して、歴史的な事柄を追究する方法を身に付け、その過程や結果を表現できるか	授業中の発問に対する応答。
知識理解	近現代史について、我が国と関連付けながら理解し、その知識を身に付けているか。	総合的に評価する。

教科(科目)	地理歴史(地理A)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	1年生
使用教科書	地理A (第一学習社)			授業形態	必修
副教材	高等地図帳 (二宮書店)				

1 科目目標

現代社会の基本的な地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、世界の諸課題を考察し、社会を主体的に生きる自覚と資質を養う。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	身近な地図に親しむ	○日本の白地図を見て、都道府県名・県庁所在地・主な地形の名称を書けるようにする。	7	中間考査
5・6	球面上の世界と地図	○16方位を全て理解する。 ○地図上の長さから実際の距離を求められる。 ○緯度・経度・時差を理解する。 ○図法によって、面積・距離・形の表現が異なることを理解する。 ○人種と民族の違いを理解する。	15	
7 8	世界の民族について言語・宗教の面からとらえる。	○世界三大宗教について、主な特色と分布地域について理解する。 ○欠点者補習	7	
9	世界の気候と人々の生活	○日本の白地図を見て、都道府県名・県庁所在地・主な地形の名称を書けるようにする。 ○気温・降水量・風などの気候要素を理解する。 ○気候帯・気候区と植生との関係を理解する。 ○日本の四季の気候に影響を与える4つの気団について理解する。	7	中間考査
10 11	東南アジアの暮らしを学ぶ	○地図を見て、国名・主な地形名を答えられる。 ○夏・冬のモンスーンの風向きと降雨の関係を理解する。 ○気候帯・気候区と植生との関係を理解する。 ○日本の四季の気候に影響を与える4つの気団について理解する。	15	
12	南アジアの暮らしを学ぶ	○地図を見て、国名・主な地形名を答えられる。 ○小麦地域や米作地域の食生活について知る。 ○欠点者補習	7	
1 2 3	食糧問題 エネルギー問題	○日本の白地図を見て、都道府県名・県庁所在地・主な地形の名称を書けるようにする。 ○世界の食糧問題を確認し、日本の食料自給率について考える。 ○新エネルギーの利点について理解し、普及の条件について考える。 ○欠点者補習	12 4	学年末考査 補習課題

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	地理的事象に対して、関心をもち意欲的に探求しようとしているか。地図帳などの副教材を積極的に活用しているか。	授業へ取り組む姿勢。 ノート・プリントなど課題の提出状況。 定期考査(1学期2回・2学期2回・学年末1回) 授業中の発問に対する応答。 総合的に評価する。
思考判断	世界的な視野で物事をとらえているか。世界の諸課題について自ら考え、解決の糸口を探ろうとする姿勢が見られるか。	
技能表現	統計資料を読み取ることができるか。資料に基づいてグラフなどを作成することができるか。	
知識理解	国名・地形・気候・人々の生活・農業・民族・宗教などの基本的事項について知識を有しているか。	